

住まいの害虫⑫

名前： ヘビ 発生しやすい時期： 4～10月

1 写真：



2 生態：

<p>大きさ等</p>	<p>(1) 有毒種（日本産の陸生ヘビで代表的なものが以下の2つです。）</p>			
	種類	大きさ (cm)	体形 (特徴)	色
	ニホンマムシ	40～60	体は太く、頭部は三角形。銭型の斑紋がある。	赤褐色～暗褐色
	ヤマカガシ	60～120	前方部に赤い斑紋が多い。	緑褐色～暗褐色
	<p>※ ニホンマムシは、哺乳類（ねずみ等）、両生類（カエル類）、爬虫類（カナヘビ等）を餌としている。 活動は、夜行性で夕方から夜間にかけて活発に活動する。</p>			
	<p>※ ヤマカガシは、カエル類や小鳥を餌としている。 性格はおとなしい。</p>			
<p>(2) 無毒種</p>				
種類	大きさ (cm)	体形 (特徴)	色	
アオダイショウ	150～250	日本で最も大きい種。	緑褐色～暗褐色	
<p>※ アオダイショウは、ねずみ類を餌としている。 ねずみを求め、人家や倉庫等にも侵入する。 性格は非常におとなしい。</p>				

生息場所	種類	生息場所
	ニホンマムシ	低地の水辺、山際の水田近く
	ヤマカガシ	水田、川の近く
	アオダイショウ	低地の森林、平地の耕作地 ※人家、倉庫等にも侵入
被害	咬まれる	

3 防除：

ヘビは、野生のねずみを捕食するなど、有益な生物であるため、必要なとき以外は駆除しないことが望ましいです。ただし、毒ヘビは、必要に応じて、専門業者に依頼して駆除してもらうことも有効です。（ヘビが逃げてしまった場合でも出張費がかかる可能性があるため、事前にご確認ください。）

(1) 予防

- ヘビは、一般的に食物があり、適当な温・湿度が保たれ、外敵に襲われにくい場所を好みます。日中、直射日光が当たり、明るく乾燥した場所は好みません。
- 具体的には、草むらの柔らかい土の穴や樹木の根の空間、石垣の隙間などがヘビの巣になります。草刈をして、日当たりを良くし、餌となる昆虫等を減らしたり、石垣の隙間を埋めるなどして巣となる環境を改善することが大切です。
- ヘビの餌となるねずみ類などを駆除することも有効です。